

## 入札仕様書

本調達には既存の生化学自動分析装置の更新整備を行い、精度の高い検査データを提供し安全な医療提供を行う事を目的とする。

本調達の概要として、以下に記載する性能を満たす生化学自動分析装置を納入する事とする。  
本調達は既存の生化学自動分析装置の更新整備であるため、既存の生化学自動分析装置で対応可能であった内容は全て満たした仕様である事。

1. 処理性能については、以下の要件を満たすこと。
  1. 1. 比色項目および電解質項目を含めて 1200 テスト/時以上の処理能力を有すること。
  1. 2. 2試薬系の比色項目で 40 項目以上の同時分析が可能であること。
2. 測定方式および反応系は以下の要件を満たすこと。
  2. 1. ディスクリット方式で多項目同時分析を行うこと。
  2. 2. 反応管直接測光方式で2波長または1波長測光が可能なこと。
  2. 3. 反応槽は恒温水循環方式で  $37^{\circ}\text{C} \pm 0.1^{\circ}\text{C}$  の範囲で温度制御が可能なこと。
  2. 4. 反応容器はプラスチック製、セミディスポーザブルであること。
  2. 5. 全反応過程の測光を行いモニタリングができること。
  2. 6. 反応時間は項目ごとに選択可能で、5分以下、15分以上の反応時間の設定が可能であること。
  2. 7. 反応液量  $120 \mu\text{l}$  以下での測光が可能であること。
  2. 8. エンドポイント法、レート法など 10 種類以上の分析法からの選択が可能で、すべての分析法においてプロゾンチェックが可能なこと。
  2. 9. リニア法、Kファクター法、非直線法などによるキャリブレーションが可能で、非直線法では折れ線キャリブレーションが可能なこと。
3. 検体供給(サンプル)については以下の要件を満たすこと。
  3. 1. ターンテーブル型のディスクサンプラーであること。
  3. 2. 100検体以上の同時架設が可能であること。
  3. 3. サンプルカップ、採血管など異なるサイズの試料容器の混在架設が可能であること。
  3. 4. 標準液、精度管理試料用の保冷部を有し、50 本以上架設することが可能なこと。
  3. 5. 自動再検機能を有すること。
4. 試料分注系については以下の要件を満たすこと。
  4. 1. サンプルプローブには詰まり検知機構が搭載されており、テストごとに詰まりの検知ができること。
  4. 2.  $1.5 \mu\text{l}$  以下の分注が可能であること。
  4. 3. 検体容器から直接反応セルに分取する方式であること。
  4. 4. 検体前希釈機能を有すること。
5. 試薬分注系については以下の要件を満たすこと。
  5. 1. 試薬分注はピペティング方式であること。
  5. 2. 3試薬系以上のアプリケーションへの対応が可能なこと。
  5. 3. 試薬プローブおよびセルのキャリオーバー回避の機能を有し、測定順を入れ替えることにより回避することも可能なこと。
6. 試薬については以下の要件を満たすこと。
  6. 1. 2試薬系の測定項目の試薬40目以上の容器の同時架設が可能であること。

6. 2. 試薬容器はバーコードで管理し、フリーセッティングが可能なこと。
7. 操作部については以下の要件を満たすこと。
  7. 1. 操作部モニタは 15 型以上の液晶モニタでタッチスクリーン機能がついていること。
8. 以下の各種機能を有すること。
  8. 1. リアルタイム精度管理、日内・日差精度管理などの精度管理機能を有すること。
  8. 2. タイマー機能による自動立ち上げが可能であること。
  8. 3. 予め登録した一連のメンテナンスを連続して実行することができること。
  8. 4. 測定結果は、項目ごとにリアルタイム表示できること。
  8. 5. 緊急検体について、ホストシステムへの結果送信を項目ごとに行うことができること。
  8. 6. 検体ごとの結果出力予測時間を表示できること。
  8. 7. オンラインヘルプ機能を有し、操作法などのサポートができること。
  8. 8. セキュリティ対策として、オペレータID管理とログインレベルによる操作制限ができること。
9. 電解質分析部については以下の要件を満たすこと。
  9. 1. イオン選択電極法であり、自社製の電極を搭載していること。
  9. 2. Na.K.Cl の3項目の同時分析が可能で、3項目の電極は独立しており別個に交換できること。
  9. 3. 200検体/時以上の処理能力を有すること。
10. 純水装置については以下の要件を満たすこと。
  10. 1. 逆浸透膜を内蔵し、最大採水量が 50L/時間以上の機能を有し、生化学自動分析装置へ十分な水量を供給できること。
11. 保守サービスについては以下の要件を満たすこと。
  11. 1. 沖縄県内にサービス拠点を有すること。
  11. 2. 24 時間 365 日受付可能であること。
12. 設置場所は、国立療養所宮古南静園研究検査室内
  12. 1. 検査室までの搬入経路、据付条件(床の状況、入口の幅、入口の高さ)は別紙図面のとおりであるので承知すること。
13. 納期については以下の要件を満たすこと。
  13. 1. 業務終了後、直ちに事業概要を記載した業務完了報告書を提出すること(遅くとも令和2年11月24日(火)までに提出すること。検査の結果、業務完了報告書に修正する必要が生じた場合、受託者は直ちに当該業務完了報告書を引き取り、必要な修正を行った後、令和2年11月30日(月)までに、修正が反映されたものを提出すること。

以上